

# 育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

## 真夏には海上訓練が最高!

川崎海洋少年団 山岡 修

海洋少年団では、カッターボート(略称カッター)、ヨット、カヤックを活用して海で訓練をしています。

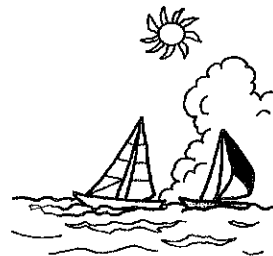
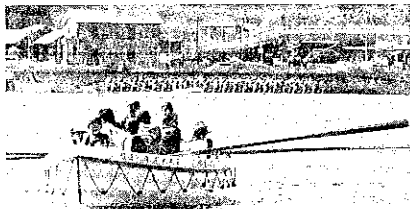
カッターは、オールという棒で水をかいて進む船のことです。海洋少年団は、6人でこぐカッターを訓練で使っています。カッターはこぎ手の6人が力と調子を合わせないとまっすぐに進みません。カッターをまっすぐ進めるために協力し合う協調性が生まれます。

ヨットと聞いていろいろな船を思いうかべると思いますが、訓練で使うヨットは小型でヨットの

中では安定性があり、比較的簡単に操船できる入門艇を活用しています。風を利用して進むヨットは、自然を相手にする難しさを学びます。

カヤックは、水面に近い艇で棒の両方に水かきが付いたパドルを使って漕ぎ進みます。操作は簡単で少しの練習で楽しむことができ、小回りが利く動きができます。艇は快適に進みますが、不安定なのでバランス感覚を養うことができます。

海上での活動は、安全のために注意しなければいけないことがたくさんありますので、基本を学び、楽しく活動をしていきます。



## 神奈川県支部ギャザリング

### ～一緒にならこの世界を変えられる～「働く子どもたち」

ガールスカウト神奈川県第31団 熊谷美来・仙石紗也乃

「ギャザリング」とは、あるテーマについて神奈川県ガールスカウトたちが集まって話し合いをすることです。今年のテーマは「一緒になら極度の貧困と飢餓をなくせる」、サブテーマは「働く子どもたち」でした。

ギャザリングに参加する前、働く子どもたちがどんな現状なのか少し興味がわきました。参加してみたらその子どもたちの現状を知っておどろきました。実さいに現地に行ったレンジャーの人から話を聞いて、学校に行けない子どもたちがかわいそうだと思います。

次に、グループに分かれて働く子どもたちについて話し合いました。生活するためのお金が欲しくて働いています。でも給料が少なかったり危険な仕事をやらされていたり、一年間がんばって働いても、日本円にして1,500円ぐらいしかもらえないのに、それ以上の労働を大人がもともとめていま

す。私たちがこの子どもたちの立場だったらつらくて苦しいけど、その子どもたちは、それがふつうだからなにも感じません。

子どもたちが働く理由は、親が子どもを捨てたからお金がなくて働いたり、お金がない家庭に生まれて小さい時から働いているなどの理由です。

一番印象に残ったのは「負の連鎖」です。「負の連鎖」とは、例えばAさんは貧しいので小さいころから働いています。働いているので教育を受けていません。だから大人になってちゃんとした職につけません。そして、そこから生まれた子どもも貧しいのでAさんと同じようになるのが「負の連鎖」です。つまり「負の連鎖」が何回も続くということです。

ギャザリングに行って感じたことは、私たちの暮らしがどれだけ幸せでみただけかと思えました。

## 多摩川美化活動(クリーン作戦)と稚魚放流に参加して

高津区子連 北見方子ども会 会長 藤原 忠 興

梅雨の季節に入る前の6月6日(日)、朝から暑い青空の下、川崎市主催の第32回多摩川クリーン作戦が実施され、55団体約4,500人が河川敷のごみを拾いました。

約3,300kgのごみになりました。今年も宮前区、高津区の子ども達が参加して活躍してくれました。(川崎市全体で196団体・15,800人の参加がありました)

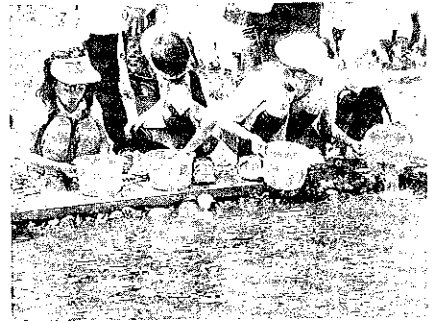
未来ある子ども達にふるさとの川『多摩川をきれいによごさない』を体験してもらいました。

クリーン作戦の後、子ども達が楽しみにしている多摩川への稚魚の放流です。毎年実施して今年は第35回になります。きれいになった河川敷に約1,300人余りのたくさんの子ども達が集まり、北見方子ども会・東高津小学校6年西山春花さん、狩野恭行君2名の力強い放流宣言がされました。

《どじょう・ウグイ・うなぎ・ハヤ》をカラーバケツに入れてもらい、元気に大きくなってと願いを込めて多摩川に放しました。魚は群れを作り、浅瀬から泳ぎだして本流の流れに乗って見えなくなりました。

小さい子どもさんは、お父さんお母さんとバケツの中の魚をこわごわ手でつかみ、大きな声を出しながら水辺に放していました。家族の笑顔と笑い声、楽しい雰囲気になり溢れていました。子ども達は多摩川に直接触れ、身近な親しまれる川として思い出を作ることができた日になりました。金魚をもらってニコニコ笑顔で帰りました。

毎年の事ですが、企画・計画・準備・実施と、担当されている役員さんには、深く感謝いたします。お疲れ様でした。放流した稚魚が大きく元気に育つように子ども達と見守ります。



## 日本連盟インターナショナルキャンプ オープンディに参加して

ガールスカウト神奈川県第70団 嶋崎 美 樹

私はオープンディに初めて参加させてもらいました。オープンディには日本以外にもイギリスや台湾など、様々な国の人が来ていました。その国の食べ物の試食やクラフトなどいろいろありました。日本とはちがう国の人と交わることはなかなかできないのでよかったと思います。英語で少しお話をしたり、一緒に写真を撮ったりと…。いろいろな国の人たちと交流できたことを本当に良

かったと思っています。また、部屋割りと同じ部屋になった子とも仲良くなれてよかったです。

このオープンディに来て他の国の文化、いろいろな人との交わり方など身に付けることができました。本当にこのオープンディに参加することができて良かったです。オープンディの関係者の皆様ありがとうございました。



### オープンディについて

ガールスカウト日本連盟が発足して90年になりました。それを祝って「戸隠ガールスカウトセンター」で世界14カ国約500名参加のインターナショナルキャンプがありました。期間中のオープンディに川崎市連絡会も参加しました。

## ボーイスカウト 2010年 夏の活動

### 「ボルチモア交流派遣を終えて」

日本ボーイスカウト川崎地区協議会 水野 英明

7月17日、私達はアメリカ・ワシントン空港に降り立ちました。日本を出発してから12時間の空の旅で、多少の疲れは感じながらも、これからのプログラムに期待いっぱいでした。

5月8日の結隊から2ヶ月間の準備・事前訓練を経て、派遣隊のチームワークもバッチリです。簡単にスケジュールを説明すると、

- 7月17日(土) ホストファミリーとの対面式
- 7月18日(日) ボルチ側主催歓迎パーティー
- 7月19日(月) ボルチモア市内観光
- 7月20日(火) ワシントンDC観光
- 7月21日(水)～23日(金) キャンプ
- 7月24日(土) ホストファミリー・デー
- 7月25日(日) 川崎側主催さよならパーティー
- 7月26日(月) ボルチモア市長表敬訪問
- 7月27日(火) 現地出発、28日帰国

12日間は、ほんとにアツという間でした。とても、紙面に書ききれません。



育成連盟の皆さん、ぜひ10月17日の「ボルチモア交流派遣報告会」にいらして下さい。

交流の輪を広げましょう！



### 「第15回 日本ジャンボリー」に参加して

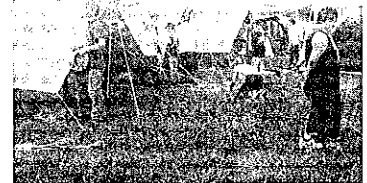
日本ボーイスカウト神奈川第2隊 隊長 服部 考 浩

8月1日から9日までの間、第15回日本ジャンボリーに参加しました。日本ジャンボリーは、ボーイスカウトの祭典といえるキャンプ大会で、4年に1回開催されます。今回は静岡県朝霧高原で開催され、神奈川第2隊は川崎の他の2個隊とともにバスで往復しました。

到着後、しばらくは晴れていましたが、皇太子殿下も参加された開会式はあいにくの雨となりました。雨が降り続くと、牧草地であるキャンプサイトはドロドロとなり苦労しましたが、スカウトは工夫をして炊事やサイトの改善を行い、元気に生活していました。

プログラムでは、パイオニアリング、野外料理対決、環境問題、間伐法、場外での酒造や紙すきの見学・体験など、様々な経験ができました。また、スカウトは遠くに住む仲間と積極的に交流していました。北海道や沖縄、外国のスカウトと気軽に話せる雰囲気ジャンボリーの最大の魅力だと思います。

次回の日本ジャンボリーは、2013年に山口県きらら浜で開催される予定です。今回参加したスカウトが、後輩を指導する立場で参加してくれるとうれしいです。





# 川崎市子ども会連盟野球大会

多摩区子連 菅フェニックス子ども会 及 川 雄 幸

優勝は31年振りです。奇しくも今の監督とヘッドコーチが中学3年で15才のときでした。

川崎市子ども会連盟野球大会は、一年を通しての大きな大会で、その当時、川崎球場は少年達の憧れであり、中学生の甲子園でした。そこで野球をやるのをどこのチームでも目標にしていたはずですが。彼等も先輩や指導者、親からも言い聞かされていました。

チーム全員が心一つに、週2回のグラウンドでの練習や毎日欠かすことのない自主トレで、切磋琢磨し時間をかけて強くなり、頂点に立つ事が出来ました。

地元で大優勝旗を持ち帰ると、関係者や商店街の人達が町を挙げて喜んでくれて、言われる通り優勝旗やカップを先頭に商店街をパレードしたことが思い出されます。

近年では、本部大会に何度か地区代表で出場するも思いを達成することができませんでした。今年は運が良かったのか、等々力球場で52年の歴史の中で3度目の優勝報告をすることができました。

しかし準決勝、決勝と同点時間切れでくじ引き抽選になりました。勝ちくじ数の多かった自チームも、負けくじ数の多かった相手チームも納得するには至らなかったように思います。

格式が高く歴史があり、川崎市の中学生の人格育成と野球向上に大変尽力があり、この大会を目標にしたチームから何人もの名門高やプロ選手を輩出したことは周知の通りです。

過去のことと言わず一生の思い出にもなるのですから、くじ引き抽選等せず特別ルール等の一考を希望します。

炎暑の中、お世話頂いた役員、審判員の方々に深くお礼申し上げます。



## 誰でも何でも相談できるよ！ ～相談窓口の紹介～

学校や子どものこと、家族のことなど、何か困ったことがあったら、気軽に電話で相談してみてもいいでしょう。

教 育 相 談		
総合教育センター	24時間電話相談 (年末年始は休み)	毎日24時間受付 TEL.522-3293
総合教育センター	子ども電話相談 (土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:00～16:30 TEL.844-6700
総合教育センター	溝口電話相談 (土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:00～16:30 TEL.844-3700
総合教育センター	塚越電話相談 (年末年始は休み)	毎日 9:00～18:00 TEL.541-3633
総合教育センター	不登校家庭訪問相談 (土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:00～18:00 TEL.522-3534
教育委員会	教育相談室 (土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:00～16:15 TEL.200-3288～9
教育人材センター	「やまびこ相談」(土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:30～15:30 TEL.435-7474
児 童 ・ 青 少 年 相 談		
児童・青少年電話相談 (土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:00～20:00	TEL.877-8107
児 童 相 談		
中央児童相談所 (土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 8:30～17:00	TEL.877-8111
南部児童相談所 (土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 8:30～17:00	TEL.244-7411
思 春 期 保 健 相 談		
思春期保健電話相談 (月～金・日・祝日・年末年始は休み)	土 13:00～17:00	TEL.877-8469
子 ども の 人 権 相 談		
人権オンブズパーソン (日・祝日・年末年始は休み)	月・水・金 13:00～19:00 土 9:00～15:00	TEL.813-3110 TEL.0120-813-887
い じ め な の 相 談		
川崎いのちの電話 (こころのホットライン) 児童虐待防止センター	毎日24時間受付 毎日24時間受付	TEL.733-4343 TEL.0120-874-124

発行 川崎市青少年育成連盟  
事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10  
生活文化会館 (てくのかわさき) 3階  
TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、  
川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社